矢剣町95番の利活用に係るサウンディング調査の結果概要

1. 調査の目的

敷地の大半が未利用となっている「矢剣町95番」の利活用の方向性を幅広く検討するため、サウンディング調査（個別対話型）を実施し、当該土地の市場性の有無や、借地を含めた利活用の可能性、また、利活用にあたって民間事業者が考える応募に際しての課題などを把握・整理する。

2. 実施スケジュール

実施要領の公表	令和7年1月15日（水）
質問書及び現地見学会（希望する場合）の受付期限	令和7年1月31日（金）
現地見学会の開催（希望事業のみ）	令和7年2月5日（水）～2月12日（水）
参加申込書の提出期限及び提案書（任意）の提出期限	令和7年2月21日（金）
サウンディング調査（個別対話）の実施	令和7年3月3日（月）～3月7日（金）
実施結果概要の公表	令和7年3月19日（水） 予定

3. 個別対話への参加団体

2団体

4. 個別対話結果概要

提案事業者	提案内容
A社	【活用案】環境リサイクル学習施設 ・土地の売却を希望。 ・自社資本や補助金の活用や協賛団体からの資金を調達し、運営を図る。 ・市内の児童や市外からの希望者を対象とする環境リサイクルについて体験学習を通じ学ぶ機会の提供。 ・施設職員の障がい者雇用。
B社	【活用案】官民連携での子育て世代向け賃貸住宅 ・土地の貸付けを希望。 ・施設の整備については、PFIの導入も視野に入れながら、市の意向を反映できるように複数の手法が検討できる。 ・施設の1階又は1～2階部分を医療福祉関係施設や地区の集会場等にも活用できるスペースを併設する。

5. 今後の進め方

今回のサウンディング調査により、幅広い利活用の可能性が十分にあることが把握することが出来ました。ご提案いただいたアイデアやご意見を参考に、次年度以降も引き続き利活用について検討していきます。